



「平和のベル」プロジェクトのご報告

この夏、広島・長崎の原爆投下から 75 年となり、全米国際姉妹都市協会 (SCI) の企画による日米姉妹都市「平和のベル」プロジェクトが行われました。これは 8 月 6 日と 9 日に、日本に姉妹都市を持つアメリカの市の市民が、原爆が投下されたのと同じ時刻に、それぞれの場所で鎮魂のベルを鳴らすというプロジェクトです。

当協会では北上市の姉妹都市であるアメリカ・カリフォルニア州コンコード市のコンコード・アンバサダーの呼びかけに応じ、8 月 6 日と 9 日にコンコード側と「Zoom」で中継をつなぎ、この共同プロジェクトに参加しました。

両日とも、会場となった北上市生涯学習センターには、大勢の市民の皆さまがおいでくださり、6 日の 8 時 15 分 (広島) と、9 日 11 時 2 分 (長崎) に、オンライン中継の画面越しに全員で黙とうをささげ、被爆からの年月を数えるよう 75 回順番にベルを鳴らし、鎮魂の祈りしました。

また、9 日の中継では、姉妹都市の歌「Catch the Rainbow」の作詞・作曲を担当された屋良とものぶさん (神奈川県在住) が Zoom で参加され、屋良さんの歌と伴奏で「Imagine」と「Catch the Rainbow」を日米全員で歌い、平和への思いを共有しました。

ご協力・ご参加くださった皆さま、本当にありがとうございました。



鎮魂の気持ちをこめて鳴らした色とりどりのハンドベル。ひとり一音ずつ順番にベルを取り、こころを込めて鳴らしました。国際都市推進きたかみ市民会議より伊藤彬会長も両日かけつけてくださいました

8 月 9 日 (長崎原爆投下の日) には、高橋敏彦北上市長も参加され、コンコード・アンバサダーの皆さまと交流を深められました



ビデオ会議アプリ「Zoom」を使って、コンコード・アンバサダーの皆さまや、コンコード市でも公演したシンガーソングライターの屋良とものぶさんと回線を繋ぎ、プロジェクトが進行しました



8 月 9 日 (長崎原爆投下の日) の参加者の皆様と最後にパチリ。6 日 (広島原爆投下の日) と各日ともに、呼びかけに応え、ご協力・ご参加くださった皆さま、本当にどうもありがとうございました！